

# 奥山六左衛門(朝忠)

「おくやまろくざえもん(ともただ)」

## 直虎の治世を全身全霊で支える井伊家家臣

井伊家親族の中でも、特に歴史があり影響力の強い奥山家。奥山六左衛門(朝忠)は、奥山朝利のあとを継ぎ、井伊直虎や直政に仕えたひとり。井伊家が瓦解の危機にあるときも他の大名に寝返ることなく井伊家の家臣であり続けた忠誠心の強い武士だったといえる。

奥山朝利が暗殺され、朝利の息子である朝宗は桶狭間の戦いで井伊直盛と共に亡くなっている。その朝宗の息子が奥山六左衛門(奥山朝忠)、つまり朝利の孫にあたるが、朝利の息子だという説もある。

井伊家伝記によると、奥山六左衛門は、まだ幼かった直政(虎松)を鳳来寺に逃がす際、随行し直政を守りぬくという大役を果たしたと伝えられている。奥山六左衛門の働きがなければ「井伊の赤鬼」と恐れられ、徳川四天王のひとりとして、大出世することもなかったかもしれない。



今も名を残す「奥山」は、伝説ある美しい町じゃ!

## HISTORY

## PLACE

### 大本山 方広寺

方広寺は臨済宗方広寺派の大本山であり、湖北五山のひとつ。井伊直政の母の出身、奥山家ゆかりの寺だ。無文元選禪師を御開山と称し、奥山六郎次郎朝藤を開基と称する。元選禪師は、この地がかつて訪れた中国の天台方広寺の風景に似ていることから「方広寺」と名付けたと伝えられている。無文元選禪師が中国から乗船して帰国する際、台風に遭遇。今にも沈没してしまいうような中、一心に観音経を読んだところ、異人が現れ「わたしは禪師が正法を伝えられぬために、無事に故国に送り申します」と叫び無事に博多の港に導き、姿を消されたと言われている。後に禪師が方広寺を開創した際、再びその異人が現われ、弟子になることを懇願。禪師の「汝は半僧に似たる所あり」の言葉に喜び「吾は是半僧なり」と半僧を名乗るようになったと伝わる。以来、この方広寺を護る鎮守さまとして祀られ、世の人々の苦しみや災難を除く権現さまとして信仰をあつめている。

### 奥山六左衛門の足跡



DATA 浜松市北区引佐町奥山1577-1 ☎053-543-0003 時/9:00~16:00 休/無休 料/大人400円、中学生以下200円、未就学児無料 <http://www.houkouji.or.jp/>

## HISTORY

女城主 直虎を守りきる、

井伊家の中心となる武芸に秀でた家臣

# 中野直之

「なかのなおゆき」

## 井伊家に対する忠義は筋金入り命をかけて井伊家の存続を守る直虎の重臣

井伊直盛から絶大な信頼を得ていた中野直由の子、直之。今川家に対する謀反を鎮圧するために引間城攻めに参戦中に戦死した父の後を継いだ。彼は直虎と南溪和尚の画策により、直政が徳川家康に謁見する際、祐椿尼(井伊直盛の未亡人)の命で直政に随行し、共に浜松城へと向かったと伝えられている。井伊家の唯一の後継者を護衛する大役を任せられた直之も、父と同様に井伊家から厚い信頼を得ていたことがわかる。直之は直虎の重臣として働き、直虎亡き後は、直政の元で家老となり、井伊家に忠義を尽くした。

また、直之は奥山朝利の娘を妻とし、2人の子供(三孝と一定)をもうけるが、嫡男の三孝は、のちに直政に仕えて家老に就任。次男も直政の母が再婚した松下源太郎清景の養子となり、松下一定を名乗って、兄と同じく直政の家老となった。こうして井伊家に近い分家だった中野家は、直由・直之・三孝・一定兄弟と親子孫の三代にわたって井伊直親、直虎、直政を支えたのだ。

## PLACE

### 龍潭寺



龍潭寺にある井伊家墓所近くに、井伊家家臣の墓として中野氏の墓がある。初代中野直房・2代中野直村、3代中野直由、4代中野直之と記されている。

### 中野直之の足跡



中野直之殿と奥山六左衛門殿は親戚関係なんじゃ!

直之ってこんな人

徳川家康の重臣

井伊家家臣

直虎と直政の護衛役

## 興禅庵橋

中野家の菩提寺があったといわれる場所は興禅庵橋という橋になっている。



龍潭寺東門は、中野の子孫(松下一定)が寄進したと伝わる旧鐘楼堂。龍潭寺の中で最も古い建物である。

井伊家

## 豆知識

## TRIVIA

### 「奥山家」は子孫繁栄で井伊家を支えてきた重要な一族

井伊家家臣団の中でも特に影響力が強いのが奥山家。奥山朝利の後を継ぎ、直虎や直政を支えた奥山六左衛門(朝忠)や孫一郎のような息子や孫に加え、非常に多くの娘もいたことで知られている。中野直之に嫁いだ娘、井伊直親の正室となった娘、小野政次の弟である小野玄蕃に嫁いだ娘、井伊家に赴任していた西郷伊予守や、井伊谷三人衆である鈴木重時、遠江の家族である菅沼氏に嫁いだ娘もいたという。井伊家は子宝に恵まれなかったが、奥山家は次々と子が誕生。男は主に槍働きで井伊家を助け、女は井伊家と家臣との縁組を重ねることで井伊家を支えてきた。

六左衛門ってこんな人

井伊家家臣

奥山家の当主

井伊家分家の実力者

家康くんが分析! 六左衛門メーター

もちろん当主として 武力は持ち合わせていたのじゃ!

